

2022年度児童発達支援自己評価表(職員)

		チェック項目	はい	いいえ	未記入	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			・グルーピングをしながら行なっている。 ・ソーシャルディスタンスを考え、人数調整をしながら活動を行えている。
	②	職員の配置数は適切であるか	6			・活動内容に応じてプラスしたり、事務をしたり、子どもの人数、活動(療育)内容に合わせ適切と思われる。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	1		・掃除が行き届いていないときもあるが、気付いた時に都度そうじしている。 ・職員同士で分担をし気持ちよく過ごせるように掃除や整頓を行っている。 ・活動前、活動後の掃除を行っている。 ・活動前は子どもたちの様子に合わせて朝の遊び等できる室内を作っている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	2		・会議等で共通認識はできている。広く職員には時間と内容の工夫がさらにできるといい。 ・「広く職員が」というところで「いいえ」にした。時間が限られている先生方と一緒に話合える時間を工夫したい。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			・法人のホームページに乗せている。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	1		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			・年間計画に組み込まれている他、広く研修に参加できる仕組みになっている。
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6			・支援会議も月1回行っている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2		・たつく共通の発達検査は行っている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			

援 の 提 供	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか	6			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			・事例研修を行なっている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	1		・どこまで連携をとればOKなのか定かではないが、必要なときは積極的に連絡をとっている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6			・専門職からの助言や研修、児童発達連絡会で他の事業所と関わっている。 ・児発連絡会で研修や情報交換をしている。必要に応じて連絡もとっている。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6			・後期より月1で幼稚園との交流をしている。 ・10月に雄踏幼稚園との交流が行われる。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て協議会等へ積極的に参加しているか	6			
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			

	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	5			
保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自動発達支援計画の同意を得ているか	6			
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6			
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	1		・野菜の収穫を通じて地域の方と関わることはできている。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	2		・保護者への周知ができていない。訓練は行えている。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6			
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			・終礼にてヒヤリを報告し合っている。いろいろな気付きからヒヤリの声があがるとよい。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			

	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、自動発達支援計画に記載しているか	6			・その都度やむを得ず必要なときは親御さんへ話をしている。
--	----	---	---	--	--	------------------------------